

8月末～9月初めに開催を策動

第3滑走路

「4者協」許すな

私利私欲! 石毛^{博道}・相川^{芝山町長}・利権団体弾劾

「第3滑走路阻止」を決意した
7・3東京集会(東京・錦糸町
すみだ産業会館)



千葉市幕張で行われた第1回目
の4者協議会。反対同盟は宣伝
カーで弾劾(昨年9月17日)



第3滑走路建設を推進する攻撃が強まっています。芝山町長の相川勝重は、「8月末から9月初めに第4回4者協議会を開催する」と明言しています。さらに、石毛博道氏や相川勝重町長そして地元土建企業を中心の利権団体からなる「第3滑走路実現を目指す有志の会」は、8月27日にインチキ勉強会(下総地区)を計画し、「第3滑走路反対」の住民の声を踏みにじって翼賛運動を演出しようとしています。

土建・建設など地元企業の利益のために、周辺住民をさらなる騒音地獄に叩き込む第3滑走路策動を断じて許しません。4者協議会の開催を阻むために、共に立ち上がりましょう。

「第3滑走路目指す会」が翼賛運動の勉強会を画策

9・7最高裁包囲デモ～署名提出

●9月7日(水)午後1時30分 星陵会館集合～最高裁包囲デモ

(星陵会館=東京都千代田区永田町2-16-2 TEL 03-3581-5650)

●午後2時 最高裁西側通用門集合 午後2時30分 署名提出

大谷裁判長は高裁判決破棄せよ

9・7最高裁デモ・

第3次署名提出行動へ

5月18日に行った第2次署名提出行動（最高裁）



市東さんの農地を守る農地法裁判は、8月10日、最高裁に上告して1年を迎えました。このことは、最高裁闘争が判決をめぐって重大な段階を迎えたことを意味します。反対同盟は、ある日突然の判決という策動を阻止するため、9月7日、最高裁包囲デモ～第3次署名提出行動を行います。多くの方の参加を呼びかけます。

最高裁デモは初めての取り組みです。霞ヶ関～永田町をゆるがすうねりを起こしたいと思います。こうした闘いの一環

として反対同盟の顧問弁護士は、8月18日に第3小法廷・大谷剛彦裁判長・日置朋弘調査官に対して「上告理由の補充書」



大谷剛彦・第3小法廷判事

を提出しました。「補充書」では、今、千葉地裁で闘われているもう一つ別の市東さん裁判＝耕作権裁判において、NAAが明け渡しを求める畑の位置が、「誤りである」との判決が出る可能性を示し、これと無関係に「誤った事実認定に基づいて上告判決を出すことは許されない」ことを主張し、反動判決策動を阻もうとするものです。ご参加をお願いします。

行動の要領は1面に掲載

茨城・福島から13人が来訪、援農・現地調査

7月24日、「市東さんの農地を守る会・茨城」と「市東さんの農地を守る会・福島」の仲間計13人が援農と現地調査に三里塚を訪れ、市東孝雄さん、萩原富夫さんら反対同盟と交流を深めました（写真）。一行は、市東さん特注の顔写真入り「50周年Tシャツ」（写真右上）を贈られ感激していました。



8月12日、四国電力による伊方原発再稼働を弾劾する労働者市民（愛媛県伊方町）



伊方原発の再稼働弾劾

1キロ北に地震源（中央構造線）、海際傾斜地で避難できず

安倍政権と四国電力は8月12日、「日本で一番危険」と呼ばれる伊方原発（愛媛県伊方町）の再稼働を強行しました。本当に許せません。伊方原発の危険性は大きく二つあります。一つは、4月に熊本大地震をもたらした日本で最大の活断層・中央構造線が1キロ北に走っていることです（右図参照）。まさに「一番危険」と言われる理由です。



熊本地震を起こした中央構造線は伊方原発のほぼ真下

周辺自治体の反対も無視

さらに、山が迫る海辺に張りついたような場所にあるため、事故が起きたら避難するルートがないことです。伊方原発は、東西40キロ、最大幅6キロの佐田岬の付け根に

あるのです。船での避難など、港自身が破壊され得るはずもありません。にもかかわらず「命より金もうけ」で再稼働をしました。大分県など多くの自治体の反対も無視しています。元凶は安倍政権の原発推進政策です。絶対反対の声を強めよう。

デルタ航空が成田から撤退へ

国交省・NAAに大打撃



成田空港に駐機するデルタ航空機。成田から姿を消す日も遠くない

羽田昼間枠拡張で採算悪化

米国で唯一、成田を拠点にしてきたデルタ航空が10日、成田発着の基幹路線3つを廃止すると発表しました。アジアの拠点を上海空港に移す方針です。羽田の昼間の国際線が増便されたため、羽田に施設を持たない同航空は苦境に立たされた結果、「成田からの撤退」を検討しています。国交省の住民無視の空港政策のツケが回って来たのです。NAAにも大打撃です。

地域住民の声

成田～芝山～多古～

芝山町、成田市の住民から意見をいただきました。騒音地獄をさらに拡大する第3滑走路への怒り、安倍政権の沖縄政策への批判の声です。

騒音がまんでできない。 「第3」もってのほか

芝山町・自営業（男性）

4000羽滑走路と2500羽滑走路の「谷間」と言われる地域に住んでいるけど、「谷間」なんてもんじゃない。特に夏の今の時期、全室にクーラーをつけてるわけじゃないから、窓を開ける時もある。そこに情け容赦なしに騒音が飛び込んでくる。

そりゃ、年がら年じゅう同じ騒音というわけじゃないけど、だから騒音がまんでできるかという、そういう問題じゃないんだ。ほんの一時だけを見て、「大

した騒音じゃないですね」なんて言ってほしくない。1年、365日暮らしている者の身になれば、ということ。家の隣にプレハブでも建てて、10日間でいいから騒音を朝晩、実地に体験しろと言いたいよ。この上、第3滑走路だ？ 冗談じゃないよ。

安倍政権の沖縄政策に断固反対する

成田市・元会社員（男性）

選挙が終わったとたんに、辺野古の新基地で、裁判に提訴したと思ったら、今度は高江（国頭郡東村）でのヘリパッドの着工の強行。そして補助金の減額の話。安倍政権の露骨なやり方にあらため腹を立てている。

沖縄は日本で唯一、地上戦を経験した地域でしょ。だけど、本土の人間は他人事。自分も大きなことは言えない。できることはカンパぐらいだけど、きちんと監視する思いだけは忘れちゃいけないと思っている。「福島、沖縄と結ぶ」という標語が前回、「反対同盟ニュース」に載っていたが、言い言葉だと思った。応援します。

障害者殺傷

相模原事件を弾劾する

7月26日付け朝日新聞号外



7月26日、神奈川県相模原市で起きた障害者の虐殺事件は、「利益を生まない命には価値がない」とする安倍政権の障害者抹殺政策がもたらしたものです。石原慎太郎元都知事は重度傷患者を見て「ああいう人には人格があるのかね」となどと暴言を吐き、麻生太郎副首相も同趣旨の発言をしました。さらに、夜間は160人の入所者をわずか8人で介護する殺人的な職場環境が「死んだ方が本人の幸せ」という転倒した考えを容疑者に植え付けたのです。背景にある安倍政権の新自由主義政策を弾劾します。